

所沢市オーガニック推進 PR 事業の実施に向けたサウンディング型市場調査 結果概要

1. サウンディング型市場調査の実施概要

(1) 実施経過

本調査は以下のとおり実施した。

日 付	内 容
令和7年8月26日（火）	サウンディング型市場調査の実施について公表 （質問及び参加申込の受付開始）
令和7年9月 1日（月）まで	参加申込に関わる質問の受付 ⇒ 2件提出あり
令和7年9月 4日（木）	参加申込に関わる質問への回答公表
令和7年9月19日（金）まで	参加申込の受付
令和7年9月24日（水）	個別対話の実施

(2) 参加事業者数

本調査には3事業者の参加があった。

2. 個別対話の実施概要

参加事業者に対し、次の点についての見解を伺ったところ、以下の回答が挙がった。

＊全参加事業者の回答内容を順不同に掲載（類似する内容は集約）。

(1) 効果的なターゲット層

- ・子育て世帯を核に据えたアプローチが効果的である。このほか、若年層へはライフスタイルとしてのオーガニックを訴求していくこと、シニア層へは直売所やリアルイベントなどを介したコミュニケーションを図ることが求められる。
- ・年齢層ばかりでなく、コミュニティ単位でのターゲットも考慮する必要がある（子育てコミュニティ、学生コミュニティなど）。
- ・ファミリー層、特に30～40代の子育て中の女性に働きかけることが有効である。離乳食や食育などを通して、有機農業に関する取組にも関心が高い。
- ・大消費地である東京都内に在住する方を対象とすることが、需要の面や関心者数の面で有利と考える。

(2) 成果を得るまでの適切な事業期間

- ・事業実施自体は半年間でも可能だが、できれば１年間で取り組みたい。
- ・認知→定着→広範囲での浸透という経過をたどるには、３年間は必要と考える。
- ・広告費などの大きな予算を投入すれば短期での効果も見込めるが、じわじわと展開していく場合には概ね３年間の目安となる。

(3) 効果的な予算規模

- ・開催回数や広告費をどの程度手厚くするかによって増の要素はあるが、事業自体は１００万円程度で実施可能である。
- ・有機農業に限らず環境再生型農業のＰＲとして大規模で実施する場合には１０００万円程度が目安となる。
- ・事業運営ばかりでなく広告費なども含めると５００万円程度が目安となる。

(4) 効果的な実施手法

- ・一過性のイベントでは効果が残りにくいため、消費者と継続的に関わっていく仕組みが必要である。
- ・たとえば季節ごとに旬の農産物を扱うマルシェを開催するなど、定期的な実施で消費者の印象に残していくことが重要である。
- ・周知のためのツールとしてはＳＮＳの活用が効果的である。

(5) 提案の確度向上や円滑な事業遂行のために市に求める対応や情報提供

- ・市公式ＳＮＳやホームページを活用した広報。
- ・小中学生の保護者へのアンケート配布。
- ・事業関係者とのネットワークを構築するための初動の紹介。

以 上